

一般社団法人 日本鉱物科学会
2025 年度 第 1 回定例理事会 議事録

- 【1】 招集年月日:** 2025 年 8 月 25 日(月)
- 【2】 開催年月日及び時刻:** 2025 年 9 月 12 日(木) 15 時 45 分~16 時 45 分
- 【3】 開催場所:** 山口大学吉田キャンパス 共通教育棟 25 番教室
〒753-0841 山口県山口市吉田 1 6 7 7
(ZOOM Meeting 併用によるハイブリッド会議)
- 【4】 理事総数および定数:** 総数 22 名, 定足数 12 名
- 【5】 出席理事数:** 20 名 (Z): Zoom 出席
会 長: 井上 徹
副会長: 中村 美千彦
理 事: 秋澤 紀克, 安東 淳一, 大藤 弘明(Z), 鍵 裕之(Z), 片山 郁夫,
黒澤 正紀, 佐久間 博, 瀬戸 雄介, DAS Kaushik (ダス カウシク), 辻森 樹,
土屋 旬, 富岡 尚敬, 三河内 岳, 森下 知晃, 芳川 雅子 (柴田雅子), 河上 哲生
M. Satish-Kumar (マドスーダン・サティッシュ・クマール), 永嶋 真理子
- 【6】 欠席理事数:** 2 名
栗林 貴弘, 中野 伸彦
- 【7】 出席監事:** 永井隆哉
- 【8】 オブザーバー:** (理事以外の幹事, 委員長等報告事項報告者)
出席: 富岡 尚敬 (会計幹事), 川野 潤 (会計副幹事),
興野 純 (和文誌編集幹事), 阿部 なつ江 (会員幹事, 地球惑星科学連合連絡担当委員),
小松 一生 (庶務副幹事), 斉藤 哲 (広報幹事), 福士 圭介 (地球惑星科学連合学会選出プログラ
ム委員・正), 秋澤 紀克 (地球惑星科学連合学会選出プログラム委員・副), 東野 文子
(Elements 幹事)

【9】 議事概要

井上理事の発議により議長を理事の互選で選ぶことになり, 安東淳一理事が議長に選出された。次に, 決議定足数と開始時刻における出席理事数の確認を行い, 理事 20 名の出席を確認したので, 定款 30 条により理事会が成立した。このことを受け, 安東議長は WEB 会議システム(ZOOM Meeting)を併用したハイブリッド会議としての理事会開会を宣言した。また, WEB 会議システムの通信状況(出席者全員の音声と映像が即時に他の出席者に伝わり, 適時的確な意見表明が互いにできる状況)に問題がないことを確認し, 2025 年度第 1 回定例理事会を開始した。

会議に先立ち, 理事の互選で小松一生庶務副幹事が書記として選出された。

I. 報告事項

1. 行事・年会報告（瀬戸行事幹事）

瀬戸行事幹事より、2025年年会・総会の開催状況について報告があった。参加登録者は320名、懇親会参加者は209名となり盛会のうちに終了した。また2名の託児利用があったことも報告された。年会の予算についても大きな問題はなく進んでいるとの報告があった。

2. 会員報告（阿部会員幹事）

阿部会員幹事より、2024年度第3回定例理事会（2025年8月21日）以降の会員動静について以下の通り報告がなされた。

退会者1名（一般会員515名、学生会員125名、シニア会員170名、永年会員40名、名誉会員9名）

この結果、2025年9月12日現在の会員数は

859名(2025/8/21定例理事会)-1(物故)-1(退会)=858名 となった。

3. 和文誌編集報告（興野 和文誌編集幹事）

興野和文誌編集幹事より、第3回定例理事会報告以降の編集、出版状況が議事資料に沿って報告された。また来期の和文誌編集体制について現在の編集委員に確認をとっている旨が報告された。

4. 英文誌編集報告（Satish-Kumar 英文誌編集幹事）

Satish-Kumar 英文誌編集幹事より、第3回定例理事会報告以降の編集、出版状況が議事資料に沿って報告された。本定例理事会の前日（2025年9月11日）に編集委員会が実施され、現段階でのJMPS投稿数が少ないことが指摘された。またページチャージが発生するために記事を依頼しにくいことが指摘され、今後理事会で依頼記事のページチャージについて検討することとなった。来期の編集委員会の構成について、現編集委員会より提案を受けて理事会で承認する流れとなっていることが確認された。

5. 任期満了による委員長および委員の退任（安東庶務幹事）

安東庶務幹事より、以下の各委員会内規に従い、任期満了になった委員が退任することが報告された。また各委員の次期委員長は、内規に従って会長より氏名され、第3号議案で審議され、さらに新任の委員については新委員長によって指名される予定であることが確認された。

① 日本鉱物科学会賞選考委員会（構成委員11名のうち、1名は会長）

日本鉱物科学会賞規定 第5条 委員会は11名の委員で構成する。

1. 委員長は会長が指名し、副委員長は委員の中から委員長が指名する。
2. 委員のうち、1名は会長とする。残り9名は委員長が正会員、名誉会員の中から指名し、理事会の承認を経て、会長がこれを委嘱する。但し委員のうち、2名以上は理事とする。
3. 委員の任期は、委嘱された日から表彰を行う定例総会終了時までとする。再任を妨げない。

以下略

任期満了 委員長: 野口 高明

委員9名: 栗林 貴弘 (理事), 片山 郁夫 (理事), 中野 伸彦 (理事), 瀧川 晶, 山口 亮, 糀谷 浩, 阿部 なつ江, 瀨瀬 佑衣, 井上 徹 (会長)

② 渡邊萬次郎賞選考委員会 (構成委員8名(内2名は理事) 半数交代)

渡邊萬次郎賞規定 第5条 委員会は8名の委員で構成する。

1. 委員は、委員長が正会員、名誉会員の中から委員を指名し、理事会での承認を経て、会長がこれを委嘱する。但し委員のうち、2名以上は理事とする。
2. 委員の任期は2年とし、選任後2年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに係る定例総会終了時までとする。毎年その半数を交代する。再任を妨げない。
3. 委員長は原則として2期目の委員の中から会長が指名し、副委員長は原則として1期目の委員の中から委員長が指名する。

以下略

任期満了 4名 土屋 範芳 (委員長), 小山内 康人, 黒澤 正紀 (理事), 宮脇 律郎
継続2期目 4名 掛川 武 (副委員長), 安東 淳一 (理事), 森下 知晃 (理事), 佐藤 努

③ 日本鉱物科学会論文賞選考委員会(構成委員10名(内2名は理事) 半数交代)

日本鉱物科学会論文賞規定 第6条 委員会は10名の委員で構成する。

1. 委員は、委員長が正会員、名誉会員の中から委員を指名し、理事会での承認を経て、会長がこれを委嘱する。但し、委員のうち、2名以上は理事とする。
2. 委員の任期は2年とし、選任後2年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに係る定例総会終了時までとする。毎年その半数を交代する。再任を妨げない。
3. 委員長は原則として2期目の委員の中から会長が指名し、副委員長は原則として1期目の委員の中から委員長が指名する。

以下略

任期満了 5名 星出 隆志 (委員長), 永嶌 真理子 (理事), 水上 知行, 宮原 正明,
湯口 貴史
継続2期目 5名 吉田 健太 (副委員長), 江島 輝美, 北野 一平, 瀬戸 雄介 (理事), 堤 之恭

④ 日本鉱物科学会研究奨励賞選考委員会(構成委員10名(内2名は理事) 半数交代)

日本鉱物科学会研究奨励賞規定 第5条 委員会は10名の委員で構成する。

1. 委員は委員長が正会員、名誉会員の中から委員を指名し、理事会での承認を経て、会長がこれを委嘱する。但し、委員のうち、2名以上は理事とする。
2. 委員の任期は2年とし、選任後2年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに係る定例総会終了時までとする。毎年その半数を交代する。再任を妨げない。
3. 委員長は原則として2期目の委員の中から会長が指名し、副委員長は原則として1期目の委員の中から委員長が指名する。

以下略

任期満了 5名 佐久間 博 (委員長), 市山 祐司, 川添 貴章, 小松 一生, 中野 伸彦
継続2期目 5名 奥村 聡 (副委員長), 越後 拓哉, 齊藤 哲, 境 毅, 三河内 岳 (理事)

⑤ 日本鉱物科学会応用鉱物科学賞選考委員会(構成委員10名(うち2名は理事) 半数交代)

日本鉱物科学会応用鉱物科学賞規定 第5条 委員会は10名の委員で構成する。

1. 委員は、委員長が正会員、名誉会員の中から委員を指名し、理事会での承認を経て、会長がこれを委嘱する。但し委員のうち、2名以上は理事とする。
2. 委員の任期は2年とし、選任後2年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに係る定例総会終了時までとする。毎年その半数を交代する。再任を妨げない。

3. 委員長は原則として2期目の委員の中から会長が指名し、副委員長は原則として1期目の委員の中から委員長が指名する。

任期満了 5名 門馬 綱一（委員長）、岡本 敦、黒澤 正紀（理事）、杉浦 悠紀、三宅 亮
継続2期目 5名 佐久間 博（副委員長）、秋澤 紀克（理事）、寺崎 英紀、松本 恵、横山 正

6. 選挙管理委員会ならびに会長・副会長候補者推薦委員会の設置について（安東庶務幹事）

安東庶務幹事より、2026年7月中に会長・副会長・監事・理事等の役員選挙を実施する予定であること、選挙実施にあたり、選挙管理委員会ならびに会長・副会長候補者推薦委員会を設置することと、委員会の設置ならびに委員選出日程については、第4号議案で審議することが確認された。

II. 審議事項

第1号議案 新入会員承認（阿部会員幹事）

阿部会員幹事より、一般会員2名、学生会員10名の入会申請が紹介された。審議の結果、12名すべて異議なく入会が承認された。また、会費2年未納者からの会費納入が確認され一般会員1名が復帰することも併せて承認された。

この結果、2025年9月12日現在の会員数総数は871名（内訳 一般会員517名、シニア会員169名、学生会員136名、永年会員40名、名誉会員9名）で、2025年8月21日の第3回定例理事会後より12名の増加となった。

第2号議案 広報委員の退任の件（井上会長）

井上会長より、広報委員の石橋秀巳委員より退任の希望があったことが報告され、審議の結果、石橋委員の退任が承認された。

第3号議案 各種委員会任期満了による各委員長の会長指名の件（井上会長）

井上会長より、以下の各委員会について委員長が指名され、審議の結果、全て異議なく承認された。また、新委員についてすでに候補者が挙げられた委員会（以下③、④、⑤）については、今回の理事会にて審議が行われ、新委員についても承認された。なお、渡邊萬次郎賞は現在メダルの残数が8個であり、今後の運営について継続審議となっていることが確認された。

① 日本鉱物科学会賞選考委員会

委員長(会長指名) 奥地 拓生 会員

② 渡邊萬次郎賞選考委員会

委員長(会長指名) 掛川 武 会員

継続2期目3名 安東 淳一（理事）、森下 知晃（理事）、佐藤 努

③ 日本鉱物科学会論文賞選考委員会

委員長(会長指名) 吉田 健太 会員

継続2期目4名 江島 輝美、北野 一平、瀬戸 雄介（理事）、堤 之恭

1期目5名 則竹 史哉（副委員長）、佐藤 侑人、田阪 美樹、宇野 正起、土屋 旬（理事）

④ 日本鉱物科学会研究奨励賞選考委員会

委員長(会長指名) 奥村 聡 会員(理事)

継続2期目4名 越後 拓哉, 齊藤 哲, 境 毅, 三河内 岳(理事)

1期目5名 門馬 綱一(副委員長), 石井 貴之, 森下 知晃(理事), 横山 正,
吉村 俊平

⑤ 日本鉱物科学会応用鉱物科学賞選考委員会

委員長(会長指名) 佐久間 博 会員(理事)

継続2期目4名 秋澤 紀克(理事), 寺崎 英紀, 松本 恵, 横山 正

1期目5名 森本和也(副委員長), 伊神洋平, 大藤弘明(理事), 新名良介, 鈴木庸平

第4号議案 選挙管理委員会ならびに会長・副会長候補者推薦委員会設置の件(安東庶務幹事)

安東庶務幹事より、報告事項6の通り、2026年7月に役員選挙をおこなうための選挙管理委員会ならびに会長・副会長候補者推薦委員会を設置すること、および、両委員会委員を次回理事会で審議することが示され、審議の結果、異議なく承認された。

第5号議案 2027年の年会開催について(瀬戸行事幹事)

瀬戸行事幹事より2027年の年会開催に関して、年会開催のガイドラインに基づき、年会開催候補地案が以下のように提案された。これを受けて、井上会長より、年会開催候補地および大会運営委員長候補者が正式に提示され、審議の結果、異議なく承認された。

年会開催候補地：東北大学 川内キャンパス

大会運営委員長：辻森 樹 会員

大会運営委員：松本 恵(総務), 栗林 貴弘(会計)

第6号議案 2025年度行事委員について(瀬戸行事幹事)

第5号議案の承認を受け、瀬戸行事幹事より、2025年度行事委員について以下のように提案され、審議の結果、異議なく承認された。

委員長：瀬戸 雄介(行事幹事・理事)

副委員長：越後 拓也

委員：片山 郁夫(理事), 寺崎 英紀, 湯口 貴史, 吉村 俊平, 永嶌 真理子(山口大会LOC, 理事), 小松 一生(東京大会LOC), 松本 恵(東北大会LOC)

第7号議案 2026年以降の学術大会支援サービス「Confit」の契約更新について(瀬戸行事幹事)

瀬戸行事幹事より、2025年山口大会をもって3年契約となっていたConfitレギュラープランが終了することが報告され、新規の契約について、2026年以降もConfitレギュラープランを3年契約で締結するという案が示された。Confitのノウハウが蓄積されてきたことが考慮され、審議の結果、原案どおり契約することで承認された。

第8号議案 会員マイページ(SMOOSY)を利用した寄付金受付の導入について
(鍵理事, 代理: 井上会長, 富岡会計幹事)

鍵理事より、会員が年会費を支払う際やその他任意のタイミングでマイページ(SMOOSY)を通じて学会への寄付が行える仕組みを導入した方がいいのではとの提案があった。審議の結果、具体的な寄附の方法について、他学会で導入されているようなシステムや募金箱の設置など、様々なアイデアが示されたため、次回の臨時理事会までに、富岡会計幹事とともに、さらに調査を進めることとなった。

第9号議案 臨時理事会の件 (安東庶務幹事)

安東庶務幹事より、第3号議案である各賞選考委員会委員長の指名による委員の審議ならびに承認, 及び第4号議案である選挙管理委員会ならびに会長・副会長候補者推薦委員会委員の審議ならびに承認のため, 11月~12月に臨時理事会(ZOOM)を開催することが提案され、異議なく承認された。

その他

鍵東京大会 LOC 委員長より、東京大会 LOC として宇野正樹会員を追加するとの報告があった。また東京大会は年会全体をハイブリッドとすることを理事会として決定した。

井上会長より、二期目はより理事提案を増やしていただけるように呼びかけがあった。

【10】 閉会

閉会 以上の議事を終え, 16時45分に閉会した。

上記の決議を明確にするため, 出席した会長, 副会長及び監事がこれに記名押印する。

令和7年9月 日

会 長 井上 徹 印

副会長 中村 美千彦 印

監 事 永井 隆哉 印

(配布時押印省略)